

交野市教委ニュース

第120号（令和元年11月15日発行）

先進校視察に行ってきました！

令和元年10月24日（木）・25日（金）、交野市小中学校学力充実支援事業として、市内の小中学校の先生方が広島県安芸高田市立美土里小学校と美土里中学校へ行き、それぞれの授業と、小中学校が協働して行っている学力向上に係る取組みを視察しました。

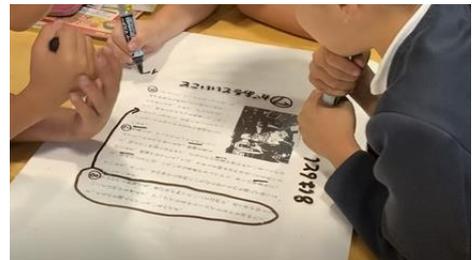
安芸高田市立美土里小学校の授業と研究協議の様子

美土里小学校はH27年度から、美土里中学校はH28年度から広島県の「学びの革新」パイロット校に指定され、主体的に学び、すべての子どもが参加でき、つまずきと分からなさに寄り添う授業を行うための「学び合いの授業」に小中合同で取り組んでいます。

10月24日（木）は、美土里小学校で第4学年の国語科の授業を参観し、その後の小中合同の研究協議にも参加させていただきました。児童たちはグループごとに与えられたホワイトボードに自分たちの考えを記入し、教師や他の児童の発言を聞いて気付いたことや考えたことを記入することで、考えを深めていました。

また、小中合同の研究協議では、小中学校の先生方が参観した授業中に児童がどんなことに気付いていたか、どんなつまずきがあったのか、

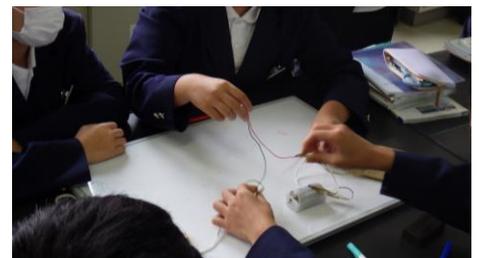
どんなことが分かるようになったのかなど、子どもたちの様子を中心に話し合いが行われていました。参観した先生方からは次々に意見が出され、学び合いの授業をもっともっと良いものにしたいという先生方の熱意が伝わりました。



安芸高田市立美土里中学校の授業の様子

10月25日（金）は、美土里中学校で、第3学年の国語科と第2学年の理科の授業を参観しました。どちらの授業でも、ホワイトボードを用いて自分たちの考えを深めていくという小学校と同じ形式で授業が行われており、生徒たちもスムーズに学習を進めていました。理科の授業では、「階段のスイッチの回路図を考える」という課題が与えられ、身近にあるものを題材にし、さらにグループで考えないと解決できないという課題設定の工夫が見られました。生徒たちは、スイッチなどの実物を触り、グループで試行錯誤しながら回路図を書くことで考えが深まっていく様子が見られました。

今回の視察では、小中学校でめざす学びの姿を共有し、その実現に向けて小中学校の先生方が協働して取り組む様子が見られ、交野市で進めている小中一貫教育の取組みにとっても参考になるものでした。また、視察に参加した先生方は、学び合いの授業や研究協議の方法について熱心に話し合っていました。



今回の視察は、交野市の小中一貫教育のさらなる推進と、各校の授業改善や学力向上の取組みにつながる多くのことを学ぶことができた機会になりました。